

本庁機能の集約化案(E案)

		E案（峰山総合福祉センター-継続検討）
部署配置の考え方		<p>〇ポイント（ねらい）</p> <p>①大宮庁舎を最大限に活用し、増築棟の建物規模を極力小さいものとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮庁舎に教育委員会事務局（子ども未来課を除く）と上下水道部を配置 <p>②増築棟に市民関連窓口をできる限り集約</p> <p>③現峰山庁舎に産業振興部門を配置</p> <p>④峰山総合福祉センターに部署配置はしない</p> <p><峰山庁舎></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業関係窓口の集約化（商工観光、農林水産） <p><増築棟></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉事務所を配置 ・市民関連窓口の集約化 ・子育て支援窓口の集約化（子ども未来課のみ配置） <p><大宮庁舎></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局を配置 ・上下水道部を配置
集約化内容	峰山庁舎	市長、副市長、議長、議会事務局、市長公室（峰山市民局除く）、総務部、商工観光部、農林水産部、農業委員会事務局、監査委員事務局、監査委員
	増築棟 ＜職員数（想定）＞	健康長寿福祉部（子ども未来課含む） 建設部、峰山市民局、市民環境部、会計課、医療部 ＜256人＞
	大宮庁舎	大宮市民局、教育長、教育委員会事務局、海の京都 DMO、京都地方税機構丹後地方事務所、上下水道部
	峰山総合福祉センター	（部局は配置せず、建物及び敷地の在り方については、他団体の利用も含めて引き続き検討）
	網野庁舎（ら・ぽーと）	
	網野庁舎 別館	
	丹後庁舎	
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・築年数の浅い大宮庁舎の最大限の活用が図れる ・窓口が増築棟に集約され、市民利用の利便性が向上する 	
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・部局間移動が多い 	